

2021年度

世界史B入試問題

(2021年2月4日実施)

座席番号									
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【注意】

1. 解答はすべて「解答用紙」の所定の欄に記入してください。
2. 問題用紙および解答用紙は持ち帰ってはいけません。
3. 使用用具は、黒鉛筆またはシャープペンシル（H、F、HB、B）、消しゴム、鉛筆削り（電動式・大型のものは不可）とし、それ以外の使用は認めない。

解答用紙はマークセンス方式です。

1. 解答用紙は、汚したり折り曲げたりしないこと。
2. マークの記入に際しては、解答用紙に示されたマーク記入例に従って黒鉛筆またはシャープペンシル（H、F、HB、B）で正確に記入すること。
3. 記入間違いは、消しゴムで完全に消してから記入すること。
4. 座席番号記入欄には座席番号を、解答欄にはマークを記入すること。

【1】 ローマ帝国について述べた次の文A～Cを読み、下の問い（問1～10）に答えなさい。

A ローマ帝国はもともと、イタリア半島の都市国家として出発した。前8世紀にイタリア人の一派が建国したという伝説があるが、その後先住民の 人が支配をしていた。前6世紀になると 人は追放され、ここに新しい政体の が始まった。前5世紀からは、国内において^(a)貴族と平民の身分闘争が展開し、それと並行して国外ではイタリア半島の征服が進められた。この半島統一は前3世紀に達成されるものの、ローマは外部との戦争を継続し、その影響もあり国内では深刻な社会変化を経験することとなった。とくに、前2～前1世紀にはさまざまな反乱が勃発し、^(b)「内乱の1世紀」と呼ばれる混迷の時代を迎えた。

問1 文章中の空欄 ・ に入る語句の組合せとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① アーエトルリア イー共和政
- ② アーエトルリア イー王政
- ③ アーラテン イー共和政
- ④ アーラテン イー王政

問2 下線部(a)について古代ローマの最高公職者（執政官）として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① コンスル
- ② パトリキ
- ③ ディクタトル
- ④ プレブス

問3 下線部(b)について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① マリウスの軍制改革が行われた。
- ② 第1次ポエニ戦争が起きた。
- ③ 同盟市戦争が起きた。
- ④ スパルタクスの反乱が起きた。

B 前27年、第2回三頭政治で頭角を現した **ウ** は、前1世紀における社会の混乱を鎮め、地中海世界の統一に成功し、事実上ローマ帝国の初代皇帝となった。ここに始まる帝政前期のローマでは、優秀な皇帝が連続する五賢帝時代を迎え、**エ** 帝のときに帝国は最大領域を現出した。ところが後3世紀に入ると、国内は政情不安定に陥り、国外からは外敵の侵入が相次ぎ、「(c)3世紀の危機」と呼ばれる状況を迎えた。この状況を打開するために、皇帝は大規模な内政改革に取り組んだ。しかし帝国の衰退を食い止めることはできず、4世紀にローマ帝国は分裂し、(d)476年に西ローマ帝国は滅亡した。

問4 文章中の空欄 **ウ** ・ **エ** に入る語句の組合せとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 **4**

- ① **ウ**-アントニウス **エ**-ハドリアヌス
- ② **ウ**-アントニウス **エ**-トラヤヌス
- ③ **ウ**-オクタウィアヌス **エ**-ハドリアヌス
- ④ **ウ**-オクタウィアヌス **エ**-トラヤヌス

問5 下線部(c)について述べた次の文 a と b の正誤の組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 **5**

- a セレウコス朝シリアの攻撃を受けた。
- b 軍人皇帝が擁立された。

- ① a - 正 b - 正 ② a - 正 b - 誤
- ③ a - 誤 b - 正 ④ a - 誤 b - 誤

問6 下線部(d)について西ローマ帝国を滅ぼしたゲルマン人傭兵隊長として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 **6**

- ① テオドリック ② オドアケル ③ プルタルコス ④ アッティラ

C ローマ帝国では、のちに世界宗教となる^(e)キリスト教が誕生した。その創始者であるイエスは、1世紀前半に布教活動を行ったとされている。イエスはローマの反逆者とみなされ十字架刑に処せられたが、死後、彼の復活を信じる人々の信仰からキリスト教が成立した。当初、帝国においてはキリスト教に対する理解が得られず、^(f)ローマ皇帝たちのなかには厳しい弾圧を行うものもいた。ところが、迫害を受けつつもキリスト教徒たちは自らの信仰を守り抜き、帝国支配の安定化を図ろうとした 帝により、キリスト教がローマ帝国で公認された。さらに4世紀末には 帝により帝国の国教となり、^(g)教義の統一も図られた。こうしてヨーロッパはキリスト教世界への道を歩むこととなった。

問7 文章中の空欄 ・ に入る語句の組合せとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① オーマルクス＝アウレリウス＝アントニヌス カ－テオドシウス
- ② オーマルクス＝アウレリウス＝アントニヌス カ－カラカラ
- ③ オ－コンスタンティヌス カ－テオドシウス
- ④ オ－コンスタンティヌス カ－カラカラ

問8 下線部(e)について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 聖典は『アヴェスター』である。
- ② 輪廻転生からの解脱を説いた。
- ③ 礼拝所としてカタコンベが用いられた。
- ④ アウグスティヌスが『年代記』を著した。

問9 下線部(f)について述べた次の文 a と b の正誤の組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。

- a ネロ帝は異教の復興を企て、「背教者」と呼ばれた。
- b デイオクレティアヌス帝はキリスト教徒の大迫害を行った。

- ① a－正 b－正 ② a－正 b－誤
- ③ a－誤 b－正 ④ a－誤 b－誤

問10 下線部(g)について述べた次の出来事 a ~ c が, 時代の古い順に正しく配列されているものを, 下の①~④のうちから一つ選びなさい。 10

- a アタナシウス派が正統教義とされた。
- b エフェソス公会議が開催された。
- c 単性論が異端とされた。

- ① $a \rightarrow b \rightarrow c$ ② $a \rightarrow c \rightarrow b$ ③ $b \rightarrow a \rightarrow c$ ④ $b \rightarrow c \rightarrow a$

【2】 イスラーム世界と中世ヨーロッパについて述べた次の文A～Cを読み、下の問い（問1～10）に答えなさい。

A (a)7世紀にアラビア半島で成立したイスラーム教は、その後急速に勢力を拡大し、東方では南アジアや中央アジアへ、西方では北アフリカからイベリア半島にまで及んだ。とくに西方においては、(b)イスラーム勢はイベリア半島に存在していたゲルマン人国家を滅ぼし、ピレネー山脈を越えてガリアに進出した。ガリアには当時、キリスト教のフランク王国が統一国家を築いており、(c)8世紀に侵入したイスラーム勢力と衝突した。この戦争の結果、イスラーム勢力はイベリア半島に後退し、一方でイスラーム教徒からの防衛に成功した(d)フランク王国は、ローマ＝カトリックとのつながりを深めていき、西方キリスト教世界を築き上げた。

問1 下線部(a)について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

11

- ① イスラーム教の唯一神はヤハウエであった。
- ② ムハンマドはヒジュラによりメディナに移住した。
- ③ 正統カリフは世襲によって選ばれた。
- ④ ウマイヤ朝の都はバグダードに置かれた。

問2 下線部(b)について、滅ぼされたゲルマン人国家として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

12

- ① 西ゴート王国
- ② ブルグント王国
- ③ ランゴバルド王国
- ④ ヴァンダル王国

問3 下線部(c)に関連して、このときの戦いとフランク王国の宮宰の組合せとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

13

- ① ニハーヴァンドの戦い－クローヴィス
- ② ニハーヴァンドの戦い－カール＝マルテル
- ③ トゥール＝ポワティエ間の戦い－クローヴィス
- ④ トゥール＝ポワティエ間の戦い－カール＝マルテル

問4 下線部(d)に関連して、次の年表に示したa～dの時期のうち、ローマ教皇領が成立した時期として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。

14

a
751年 カロリング朝成立
b
800年 カールの戴冠が行われる
c
843年 ヴェルダン条約が結ばれる
d

① a

② b

③ c

④ d

C 15世紀のイベリア半島と小アジアにおいて、キリスト教とイスラーム教の間に新しい変化が生じた。イベリア半島は、8世紀以降イスラーム勢力が進出している地域であったが、それに対抗して^(h)キリスト教徒による国土回復運動（レコンキスタ）が行われた。この運動は14世紀以降に大きく進展し、1492年にはイスラーム王朝の が滅亡し、同地域はキリスト教国によって統一された。一方、小アジアでは13世紀末にオスマン帝国が成立し、ビザンツ帝国へ干渉した。オスマン帝国は一時、勢力を落とすも国力を回復させ、第7代スルタン は、ビザンツ帝国の首都コンスタンティノープルを陥落させた。この前後に⁽ⁱ⁾ビザンツ文化を担った学者たちはイタリアなどに亡命し、以後小アジアのイスラーム化が本格化した。

問8 文章中の空欄 ・ に入る語句の組合せとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① アーナスル朝 イースレイマン1世
- ② アーナスル朝 イーメフメト2世
- ③ アーガズナ朝 イースレイマン1世
- ④ アーガズナ朝 イーメフメト2世

問9 下線部(h)について述べた次の文 a と b の正誤の組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。

- a 運動を担ったのは、デンマークとスウェーデンなどの合同によるカルマル同盟である。
- b カスティリヤ王国とアラゴン王国の合同により、ポルトガル王国が成立した。

- ① a - 正 b - 正
- ② a - 正 b - 誤
- ③ a - 誤 b - 正
- ④ a - 誤 b - 誤

問10 下線部(i)に関連して、ビザンツ文化について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① ギリシア語が公用語とされた。
- ② アラム文字が考案された。
- ③ イコンが制作された。
- ④ ハギア＝ソフィア聖堂が再建された。

B 中国東北地方において、明の支配下で農牧・狩猟生活をおくっていた女真は、1616年にヌルハチのもとで後金を建国した。2代目皇帝ホンタイジが国号を清に改めたが、その頃に(c)財政難や党争により政治経済が混乱に陥っていた明は、1644年に李自成らにより都が占領され滅亡した。明滅亡後も反清復明を主張し、台湾を拠点に清朝への抵抗を続ける鄭氏一族などが現れたが、その後中国を統一した清朝は、(d)康熙・雍正・乾隆帝と3代にわたる名君を輩出し、政治・(e)経済・文化の最盛期を迎えるにいたった。

問4 下線部(c)について万暦帝時代に財政再建に取り組んだ宰相として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 24

- ① 張居正 ② 顧憲成 ③ 顧炎武 ④ 宋応星

問5 下線部(d)に関連して、次の年表に示した a～d の時期のうち、ネルチンスク条約が結ばれた時期として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 25

a
1673年 三藩の乱が勃発する
b
1727年 キャフタ条約が結ばれる
c
1758年 ジュンガルを征服する
d

- ① a ② b ③ c ④ d

問6 下線部(e)に関連して、清代に確立した税制とその内容について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 26

- ① 地丁銀制－人頭税を土地税に繰り込んで一本化した。
 ② 地丁銀制－錢納を原則として年2回徴収した。
 ③ 両税法－人頭税を土地税に繰り込んで一本化した。
 ④ 両税法－錢納を原則として年2回徴収した。

C 18世紀末の清朝は、土地不足による農民の貧困化や **ウ** の乱が勃発するなど、社会不安が顕在化した時期であった。19世紀半ばになると、^(f)イギリスをはじめとした列強が、アジアに利権を求め中国進出を加速化させた。伝統ある中華思想を堅持していた清朝は、列強の武力の前に敗北を重ね、^(g)不平等条約の締結を迫られた。また、宗主国という立場で冊封下に置いていた **エ** を清仏戦争により失い、さらに^(h)日清戦争により朝鮮に対する宗主権や複数の領土を失うこととなった。こうした対外戦争に加え、19世紀に内乱も頻発した中国は、半植民地化が進んでいくことになる。

問7 文章中の空欄 **ウ** ・ **エ** に入る語句の組合せとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 **27**

- ① **ウ**－太平天国 **エ**－ビルマ
- ② **ウ**－太平天国 **エ**－ベトナム
- ③ **ウ**－白蓮教徒 **エ**－ビルマ
- ④ **ウ**－白蓮教徒 **エ**－ベトナム

問8 下線部(f)に関連して、イギリスの貿易政策について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 **28**

- ① 貿易交渉使節として、ラクスマンを清に派遣した。
- ② 中国からアヘンを輸入した。
- ③ 東インド会社の中国貿易独占権を廃止した。
- ④ 清に対して保護貿易を要求した。

問9 下線部(g)に関連して、不平等条約の名称と締結国の組合せとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 **29**

- ① 望厦条約－ドイツ
- ② 望厦条約－アメリカ合衆国
- ③ 黄埔条約－ドイツ
- ④ 黄埔条約－アメリカ合衆国

問10 下線部(h)に関連して，この戦争の結果，中国が割譲した地域と地図中の位置の組合せとして最も適当なものを，下の①～④のうちから一つ選びなさい。 30



- | | |
|------------|------------|
| ① 山東半島 - a | ② 山東半島 - b |
| ③ 遼東半島 - a | ④ 遼東半島 - b |

問3 下線部(b)に関連して、トルコ革命について述べた文として波線部が誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 33

- ① ムスタファ = ケマルがトルコ共和国の初代大統領となった。
- ② 首都がアンカラに置かれた。
- ③ 連合国とトリアノン条約を結び、独立を保った。
- ④ 西欧化を目指し、ローマ字が採用された。

B ペルシア語で「王」を表すシャーの称号が初めて使用されたのは、アケメネス朝ペルシアの時代である。(c)ダレイオス1世時代の碑文にはすでにその称号が見られ、パルティアやササン朝などのイラン系国家においても継承された。近世ペルシア語においてシャーは、王を意味する一般名詞であり、同言語を公用語としたイスラーム圏のインドや中央アジアなどでもこの称号は用いられた。(d)ムガル帝国のシャー＝ジャハーンなどはその一例である。またイランにおいては(e)サファヴィー朝以降、君主の称号として定着し、(f)20世紀のパフレヴィー朝がイラン革命によって倒されるまで用いられた。

問4 下線部(c)について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 34

- ① ペルセポリスの造営を始めた。
- ② バビロン捕囚を行った。
- ③ マラトンの戦いで勝利した。
- ④ ニネヴェに大図書館を建設した。

問5 下線部(d)が関与した次の出来事 a～c が、時代の古い順に正しく配列されているものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 35

- a 異教徒へのジズヤを廃止した。
- b 帝国の領土が最大となった。
- c タージ＝マハルを建築した。

- ① a→b→c
- ② a→c→b
- ③ b→a→c
- ④ b→c→a

問6 下線部(e)に関連して、サファヴィー朝について述べた文として波線部が誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 36

- ① イスマーイールが建国した。
- ② 十二イマーム派を国教とした。
- ③ スペインからホルムズ島を奪回した。
- ④ アッバース1世が首都をイスファハーンに定めた。

問9 下線部(g)に関連して、次の年表に示したa～dの時期のうち、インド帝国が成立した時期として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 39

a
1833年 東インド会社の商業活動停止
b
1845年 シク戦争が勃発する
c
1857年 シパーヒーの反乱が勃発する
d

- ① a ② b ③ c ④ d

問10 下線部(h)に関連して、宣統帝（溥儀）について述べた次の文aとbの正誤の組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 40

- a 満州国の皇帝となった。
b 文化大革命により退位した。

- ① a - 正 b - 正 ② a - 正 b - 誤
③ a - 誤 b - 正 ④ a - 誤 b - 誤

世界史（20210204） 解答一覧

大問	問	正解
1	問 1	①
	問 2	①
	問 3	②
	問 4	④
	問 5	③
	問 6	②
	問 7	③
	問 8	③
	問 9	③
	問10	①
2	問 1	②
	問 2	①
	問 3	④
	問 4	②
	問 5	③
	問 6	④
	問 7	①
	問 8	②
	問 9	④
	問10	②
3	問 1	①
	問 2	④
	問 3	③
	問 4	①
	問 5	②
	問 6	①
	問 7	④
	問 8	③
	問 9	②
	問10	④

大問	問	正解
4	問 1	①
	問 2	②
	問 3	③
	問 4	①
	問 5	②
	問 6	③
	問 7	③
	問 8	③
	問 9	④
	問10	②